

学校法人佐藤栄学園 平成国際大学
東日本電信電話株式会社 埼玉支店

平成国際大学で NTT 東日本・加須市と産官学連携による 「PBL（課題解決型）講義」を実施 ～大学生が加須市の未来づくりに向けた探究に挑戦～

学校法人佐藤栄学園 平成国際大学（学長：柏木 俊彦、以下「平成国際大学」）は、東日本電信電話株式会社 埼玉支店（支店長：市川 泰吾、以下「NTT 東日本」）と連携し、平成国際大学の所在地である加須市の未来づくりに向けた PBL^{※1} 講義を実施しました。

この取り組みは、2023年4月に学校法人佐藤栄学園と NTT 東日本で締結した『最新テクノロジーを用いた次世代教育協創』の連携協定^{※2}に基づく講義の第二弾^{※3}であり、大学生が先端技術を活用した地域課題解決策への探究となります。

※1：Project Based Learning（課題解決型学習）。学生自らが問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法

※2：協定内容 <https://www.ntt-east.co.jp/saitama/news/detail/pdf/hp20230424.pdf>

※3：第一弾 <https://www.ntt-east.co.jp/saitama/news/detail/pdf/hp20240222.pdf>

1. 背景と目的

課題解決型学習（PBL）は、社会が抱える様々な課題や急速なテクノロジーの進化など、これからの社会変化のスピードに適応する力「主体的・協働的に問題を発見し、解決する能力」の育成として、昨今の教育現場で必要性が高まっております。

社会的な背景や PBL 講義による未来を支える能力の育成が求められている今、平成国際大学の『卒業後の学生のキャリア育成、地域社会の課題を解決していく講義の実施』と、NTT 東日本の『地域の循環型社会実現に向けた活動の推進』の実現を目指しております。

2. 実施概要

(1) 科目名称

キャリア科目群 特殊演習（課題解決型フィールドワーク）

(2) 実施期間

2024年5月8日～2024年6月28日

(3) 対象学部、履修人数

法学部、スポーツ健康学部（79名）

(4) 内容

- ・加須市の持続可能な未来に向けた課題解決型グループワーク
- ・ソリューション体感施設（NTTe-City Labo）視察
- ・ドローンが活躍する社会への学び（座学と操縦体験）

<グループワーク概要>

STEP1:テーマ決め

加須市について調査して、チームごとに深堀するテーマを決めよう！

STEP2:問題の洗い出しと課題の深堀り

各テーマごとに加須市が抱える問題(解決すべき対象)を洗い出し、深堀する問題を決めよう！
選定した問題について課題(解決するための取り組み)を探究しよう！！

STEP3:解決策の探究

NTT東日本の講義(社会課題や解決する先端技術や仕組みなど)や、情報収集などによって
解決する方法や技術を探究しよう！！

STEP4:探究活動の結果を発表

収集した情報、課題や解決策を整理し、
チームの考えや意見を分かりやすく伝える資料を作成・発表しよう！

<講義・視察模様>



NTTe-City Labo 視察
(農業用ドローン・文化継承・スマートストアの様様)

NTT東日本による講義
(地域循環型社会に向けた取り組み紹介等)



ドローンが活躍する社会への学び

加須市職員等へ探究結果を発表

3. 参加者の感想

講義を履修した学生アンケートでは、「普段考えたことの無い課題や、見ることの無い技術に触れることができとてもいい経験となった」「頭の中で考えていたことが現実に起こっていてすごく驚いた。普段の生活ではあのような高度なテクノロジーを見たり感じたりすることはないと思うので非常に満足している」などの感想がありました。

4. 今後について

「未来を担う学生が地域の課題を解決していく深い学び」と「地域循環型社会創り」を連携させた PBL 講義を広く展開していくことで、「教育によるまちづくり」として社会に貢献していきます。

また、これからも未来を担う学生たちの生きる力を育む次世代教育を協創していきます。

【本件に関するお問い合わせ】

NTT 東日本 埼玉支店

第二ビジネスイノベーション部 産業ビジネス基盤グループ 裁松・宮本・田村・鈴木・吉田

E-mail : sales-promoter-ml@east.ntt.co.jp

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

NTT東日本グループ